

HADANO MEISUI ROTARY CLUB WEEKLY

例会場 秦野市平沢 2550-1 秦野商工会議所内 TEL(0463)81-1355

事務所 秦野市平沢 2550-1 秦野商工会議所内 TEL(0463)81-1355

例会日 毎週木曜日 12時30分～13時30分

会 長 高橋幸雄 幹 事 古谷スミ子 会報委員長 河野治男



地域を育み、大陸をつなぐ

BUILDING COMMUNITIES BRIDGING CONTINENTS
地域を育み、大陸をつなぐ

2010年～2011年度国際ロータリー会長

レイ・クリングスミス

第1238回例会 2011年6月23日(木)(晴)

司 会 古谷スミ子幹事

点 鐘 高橋幸雄会長

合 唱 「それこそロータリー」(大屋富茂君)

ビジター紹介 古谷義幸様(秦野市長) 片野新治様(市長秘書)

祝誕生記念日 《会員》 中島君(6/27)

祝創業記念日 西村君(6/15)

○ タイへの消防車贈呈に対して

秦野消防本部へ楯が届きました。

高橋幸雄会長 → 古谷義幸秦野市長



会長報告

○ ガバナー事務所より

1、地区ロータリー財団セミナー開催の案内

日時 7/25(月)

受付 13:30

セミナー 14:00～17:00

場所 藤沢産業センター8F「情報ラウンジ」

2、後藤ガバナーより、年度の終了にあたって

3、第一回地区アクターズミーティングへのご出席の
お願い

日時 7/3(日) 登録 13:00

場所 小田原市尊徳記念会館

登録料 1,000円

幹事報告

【受付文書】

○ AMDAより、AMDAジャーナルダイジェスト

○ 国際ロータリー日本事務局経理室より、7月のレート
のお知らせ 1ドル=82円

○ 秦野市交通安全対策協議会より、夏の交通事故防止運
動について

期間 7/11(月)～20(水) 10日間

○ 会長・幹事会報告

① 東日本大震災で被害を受けたロータリークラブは4
5クラブ。被害1クラブを、被害を受けなかった5

会員数	42名
出席数	31名
出席率	75.61%
前々回 の修正	92.31%

メークアップ	
--------	--

本日のプログラム	6月30日(木) ○ 夜間例会 点鐘 18:00 「納会」
----------	--

次週のプログラム	7月7日(木) ○ 就任挨拶 会長・幹事 ○ 理事会
----------	-------------------------------------

クラブで助けていく「5 for 1 Project」が決まった。
[本日の配布物] 「消防車寄贈収支会計報告」

スマイル報告

- 古谷義幸様 「本日はお招き頂きましてありがとうございます」
- 高橋幸雄君 「古谷市長、ご多忙のところ、お出で頂き感謝致します。今日の講話を楽しみにしております。宜しくお願い致します」
- 古谷スミ子さん 「雨の中、芝桜の草むしりご苦労さまでした。お休みしてしまい、申し訳ありませんでした」
- 中島賢治君 「誕生日祝い、ありがとうございます」
- 諸星常平君 「古谷秦野市長、ようこそ名水へ！講話楽しみにしています」
- 河野治男君 「スマイルします」
- 今井茂文君 「梅雨の中休みですか？熱中症には注意しましょう。今日は古谷市長の講話です。楽しみです」
- 桐山晃忠君 「いよいよ年度末ですね。会長・幹事、大変ご苦労様でした。スマイルします。一休みしないで、引き続き活躍して下さい」
- 兒玉秀夫君 「今月10日から“JA はだの”嘱託税理士として勤務しています」
- 岩本英貴君 「スマイルします」
- 前 肇君 「スマイルします」
- 梅原正美君 「節電のため梅雨の晴れ間がうれしくも悲しくもなります。しかし、スマイル委員会が一年無事に終了できる事、皆様に感謝します。一年間ありがとうございました」

合計 28,000 円

委員会報告

- ゴルフ同好会 今井茂文君
「ガバナー補佐杯ゴルフコンペ」について
7月中に開催が計画されております。詳細が分かり次第お知らせ致しますので、御参加宜しくお願い致します

講話

『消防車両の海外寄贈について』 古谷義幸秦野市長



平成14年度に財団法人日本消防協会を通じ、消防力が

必要とされる開発途上国への援助のため、マレーシアへ、消防団車両（小型動力ポンプ積載車）1台を本市では初めて寄贈を行いました。

その後、平成17年度からは「秦野名水ロータリークラブ」から、発展途上国の消防力整備充実を目的に寄与したいという要望により、消防車両の更新時に旧車両1台をタイ国ナコンパノム市へ寄贈し、今年度までに「秦野名水ロータリークラブ」を通じての消防車両の寄贈はタイ国のナコンパノム市、トラート市、チャンタブリ市などに9台の車両の寄贈にご協力をいただきました。

6月の始めには、常備車両であった「12メートル級はしご車」の寄贈と合わせて、はしご操作を説明するために消防OB鈴木進さんにも「秦野名水ロータリークラブ」と同行を願い、寄贈贈呈式にも出席をいただき、現地の消防職員に操作手順などの手ほどきをお願いしたところであり

ます。このように、「秦野名水ロータリークラブ」のご尽力により「秦野市」という名を国外で、広めていただきましたことについて、厚くお礼申し上げる次第でございます。

『今年度の予算の方針について』

昨今の厳しい財政状況は、今後も続くものと見込まれますが、いかなる状況においても、しっかりとした財政対応力を身につけたうえで、市民の力、地域の力、職員の力を合わせ、創意と工夫により、活かせる経営資源を最大限有効に活用し、また、市民にとって身近な安全・安心にかかわる事業や秦野の未来の発展につながる事業、さらには現下の乾いた社会に温かさや潤いを感じられるような施策も展開していかなければなりません。また、新総合計画のスタートの年にあたることから、平成23年度予算を「新総合計画の推進と温かさや潤いのある秦野を築く予算」として編成することにしました。

『予算規模の概要・主な事業について』

今年度の予算規模は、一般会計を始め、全7会計の総額で、832億8,100万円となり、昨年度に比べ、35億7,000万円、4.48%の増となりました。

特に、一般会計について申し上げますが、歳入では、個人市民税が、給与所得の減少による大幅な減収、固定資産税も地価の下落等により減少が見込まれることから、市税全体では、昨年度に比べ約6億3,000万円の減収となると見込みました。世界同時不況前の20年度当初予算と比べると、約24億円もの税収減となっております。

税収減の一方で、社会保障関係経費は増加の一途です。こうした中、市民生活の水準を維持するためには、借金は縮減しつつも、頼らざるを得ない状況にあり、また、新総合計画のスタートに伴い、建設事業債が増加していますが、将来世代の負担軽減を進めていく方針を堅持するため、基金の活用により、市債の発行総額は元金償還額以下に抑制をいたしました。さらには、市の貯金とも言える「財政調整基金」を、私の市長就任時の約3億から今年度のスタート時点では約15億までとし、不測の事態に備えています。

一方、歳出では、これまでも、職員の諸手当の廃止や

減額など、人件費の抑制に努めてきましたが、今年度も退職手当の減額や期末勤勉手当等の引き下げにより、人件費は減額となり、また、近年の市債発行の抑制基調を反映して、公債費も減額となりましたが、子ども手当や生活保護費などの扶助費が膨らんだため、人件費と公債費を合わせた義務的経費全体では、昨年度に比べ約5億1,000万円の増額となりました。

主な事業としましては、『クリーンセンターの施設整備』、『大根川ポンプ場建設』、『浄水管理センター水処理施設の増設』などがありますが、その多くは国からの交付金等を活用しています。

また、子育て関連事業では、7か月児健康診査時の『ブックスタート事業』がありますが、その経費の多くは、多くの団体の寄附による協力で成り立っている事業であり、そのほか、名水ロータリーにもご協力いただいている水無川沿いの桜の植樹など、これらの事業はみな市民力、地域力で支えられているものです。

『公共施設再配置計画について』

本市は、少子高齢化社会を迎え、厳しい財政状況が続く中で、公共施設で提供するサービスのうち、必要性の高いサービスを将来にわたり持続可能なものとしていくために、「公共施設の再配置」に関する議論を行い、「秦野市の公共施設再配置に関する方針（案）」定めました。

この方針は、全国に先駆けて、本市の財政や人口の推計を基に維持できる施設量を試算し、この先40年間を見据えて、施設更新の優先順位や目標値を定めることにより、必要性の高い公共施設サービスを将来にわたり持続可能なものとしていくためのものです。また、この方針に沿って「秦野市公共施設再配置計画」を策定し、「公共施設の再配置」を進めていくこととし、将来に備えたいと思っています。

ひとつの例を申しあげますが、市の施設だった蓑毛にある緑水庵は、地元の方々と2年にわたり話し合いを行い、地元で自主管理いただいた施設です。蓑毛のみなさんの手入れが行き届いて、いつもきれいな状態です。

今後も、市が持っている施設の中で地元にお渡しできる施設があれば進めていきたいと思っております。

いわゆる「ハコモノ」と呼ばれる公共施設は、経済成長と人口増加を背景として、全国で増加を続けてきました。このことは、本市も例外ではありませんが、あらためて言うまでもなく、高齢化社会の到来とそれに伴い大きな経済成長が見込めなくなる現状では、これらの公共施設を現在の姿のままで維持し続けることは、今後の市政運営にとって大きな負担となり、真に必要な行政サービスにまで、悪影響を及ぼすであろうことも事実です。

この現状に目をつぶり、現在の市民だけに今までと同じサービスを提供し続け、結論を先送りにすることは、次世代の市民に多くの負担を押し付けることになります。

しかしながら、今ある公共施設の数量だけに着目し、単にそれを減らせばいいというものではありません。公共施設にはそれぞれ果たしてきた役割があり、その中には、今後も維持し続けなければならない機能が多いことも事実で

す。現在の市民へのサービス低下を最小限に抑え、将来の市民にもできるだけ多くの公共施設サービスを受受してもらい「公共施設の再配置」を実現するためには、多くの知恵と工夫が必要になります。

まさに「公共施設の再配置」を進めることは、最大の難所を走り抜けるといっても過言ではなく、これを持ち切り、未来にしっかりとたすきをつながなければならないという覚悟で望むということです。

「公共施設の再配置」は、公共施設を利用し、支えている市民や多くの知恵や力を持つ法人が発揮する「市民力」と、本市の職員一人ひとりが持つ「職員力」、この二つの力がまさにたすきがけのように交差し合い、お互いに力を発揮し合ってこそ実現できると考えています。

「公共施設の再配置計画書」は、1部1,000円で販売しておりますので、お買い求めいただければと思います。

◎交換留学生の和田雄将君より、月例報告書が届きました。

もう、すっかり英語での授業にも慣れ、ちゃんと理解できています。あと、二週間で今学期が終わります。

先日、ホストファミリーと湖畔の離れに行きました。

ロータリークラブの例会に出席する予定です
D5020地区の集会に先週末にタコマにいました。

今週末には友達とバンクーバーに行く予定です。

